



新年のご挨拶

日本複合材料学会会長 北條正樹
(京都大学大学院工学研究科教授)

皆様、あけましておめでとうございます。今期より日本複合材料学会の会長を務めさせていただくことになりました。微力ですが学会の発展のために努力していきたいと考えますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。まずは、影山和郎前会長と執行部の、2年間にわたる学会活動の活性化など、継続的なご尽力に深く感謝いたします。私も前期の活動を継承しつつ、さらなる発展を目指す努力を行っていききたいと存じます。

昨年は年明け早々から複合材料の期待の星である Boeing787 が、バッテリーのトラブルにより長期運行停止にみまわれました。幸い5月末に運行が再開され、その後も順調に運行されております。私も運行再開後は本会理事会など東京出張の際に伊丹から Boeing787 を利用することができ、複合材料ならではの快適な旅をすることができました。6月にはフランス、トゥルーズにて Airbus A350XWB が初飛行し、航空機の一次構造材料が複合材料であることが普通の時代になった感があります。私が影山前会長とともに筑波で複合材料の研究を始めた1981年当時、Boeing767などでCFRPがようやく補助翼などの二次構造部材に使われはじめたことを考えると、感無量の思いになります。日本の炭素繊維などの材料技術、複合材料構造の製造技術は国際的に見ても非常に優れており、これらの技術が上記の複合材料の民間航空機への利用拡大に貢献していることは非常に喜ばしいことであるとともに、先人のご尽力に感謝したいと思います。また、複合材料の発達過程が研究者としての人生とうまく重なった幸運に恵まれたと思います。

私事になりますが、1986年に初めて海外出張の機会を得たのは、林毅先生、森田元会長、影山前会長に同行させていただいた第1回日瑞複合材料セミナーでした。このセミナーをはじめ次世代プロジェクトの報告会などで林先生が常に会場の最前列に座られ、的確な指導と鋭い質問でご指導をいただきました。また、筑波と京都の両方において、これまで会長を務められた先生方をはじめ複合材料学会を担ってこられた諸先生方には、温かくかつ丁寧なご指導をいただきました。会長としての職務はこれまでの恩返しをするまたとない機会であり、特に若手の研究者、技術者の方々の将来をさらに明るいものにするべく、その育成に重点をおきたいと考えております。昨年度は若手会員により分子シミュレーション研究会も設立され、今後の発展とこれに続く新しい研究会設立を大いに期待しております。

本学会では、昨年3月に第4回日本複合材料合同会議が東京で実質的に初めて開催され、300名を越す参加者がありました。カナダで開催された ICCM-19 にも多数のご参加をいただき、この分野での日本の存在感を示すことができました。9月には第38回複合材料シンポジウムと第9回日韓複合材料ワークショップが鹿児島で同時開催され、韓国側から49名の参加を得るとともに、合計参加者は約200名の盛況でした。さらに日本の人工衛星の故郷である内之浦の見学ができたのも貴重な機会でした。これらの開催に当たっては、JCCM 担当理事の東大青木隆平先生、行事担当理事と実行委員長を兼任された東レ武田一朗様をはじめ、実行委員の皆様が大変お世話になりました。深くお礼を申し上げたいと思います。

今年もまもなく3月に京都で第5回日本複合材料会議が開催されます。文字どおり、『日本を代表する複合材料に関する会議』に成長し、今回から名称もこねられたものに修正されています。9月にはアメリカ、サンディエゴで第16回日米複合材料会議が米国複合材料学会年次講演会に併せて開催されます。さらに同月後半には、秋田にて第39回複合材料シンポジウムが開催されます。関連行事として、スペインで第

16回欧州複合材料会議(ECCM-16)も予定されています。会員の皆様におかれましては、これらに積極的に参加していただき研究の切磋琢磨をお願いしたいと存じます。

昨年は新たに複合材料を対象とした経産省関連の大型プロジェクトが立ち上がるなど、政府においても構造材料としての認知が広まるとともに、航空宇宙、自動車などの我が国の経済基盤を支える分野においてますます期待をされております。また、これらのプロジェクトのリーダー、中核メンバーはいずれも本学会会員であり、学術と技術を両輪として、本会の活動が益々発展することを期待しております。

このように、これまでの諸先輩のご活躍により、本会の活動は順風満帆に見えますが、逆にこれだけ社会的な責任が強くなってきますと、本会の法人化がますます重要になってきます。幸い影山前会長のお膳立でもあり、昨年第6号の学会誌でご説明申し上げましたとおり現在着々と準備が進んでおります。こちらのほうも会員の皆様のご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

航空機に関しては、主構造が複合材料の旅客機がほぼ実現したと言ってよい時代が来たと思います。次は、「昔は自動車は金属だったね」という初夢を実現すべく、皆様のご活躍を祈念して、新年のご挨拶の結びとさせていただきますと思います。